

実績報告書

届出者	住所	大阪市中央区南本町2-2-9	氏名	トーヨー工業株式会社 代表取締役 近藤 大輔
特定事業者の主たる業種		18プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		軟質プラスチック発泡製品製造業 本社、2工場、1物流センターを所有している。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017 年	4 月	1 日	～	2020 年	3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2018)年度
温室効果ガス総排出量	3,260 t-CO ₂	2,801 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,347 t-CO ₂	2,869 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	1.9 %	6.6 %	%
削減率(平準化補正ベース)		3.1 %	1.7 %	6.8 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(原料使用量)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

大阪工場のエネルギー使用量削減の為に措置○電気使用量の削減成型機のエアリーク改善。○ガス使用量の削減ドレン熱回収の方法を変え熱交換器の効率改善。○成型システム変更見直しを行い蒸気使用量の削減

(2) 推進体制

会長を管理統括者とする、当社の省エネ推進体制に基づき、経産省・省エネ法の基準による「大阪府の温室効果ガス排出抑制に関する目標」を達成する為に取り組みます。

実績報告書

届出者	住所	大阪府大阪市北区梅田1-3-1-1200	氏名	医療法人 徳洲会 理事長 鈴木 隆夫
特定事業者の主たる業種		83医療業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に病院を運営し、全国に36病院を開業し、うち、大阪府内では6病院を開業している。そのうち1病院は和泉市所有の為、医療法人徳洲会からはエネルギー報告していない。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間						
2017年	4月	1日	～	2020年 3月 31日 (3年間)		
(2) 前年度における温室効果ガス総排出量						
区分	基準年度(2016)年度		前年度(2018)年度			
温室効果ガス総排出量	15,791 t-CO ₂		15,476 t-CO ₂			
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	16,731 t-CO ₂		16,489 t-CO ₂			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			0 t-CO ₂			
(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況						
区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (2018年度)	第3年度 (2019年度)	
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	-0.7%	2.0%	%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-1.3%	1.5%	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%	%
温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値		(延床面積)				
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)						

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>昨年度よりエネルギーの削減をすることができた。一昨年導入した照明のLED化や、設備の高効率製品への更新が寄与しているものと考えられる。2019年度は計画最終年度のため、より一層の削減達成を目指したい。</p>

(2) 推進体制

<p>・地球温暖化対策のため、各病院のエネルギー管理企画推進者は毎月、対策の進捗状況を報告し、本部でエネルギー管理統括者を中心に、現状改善などを検討します。</p>
--